

花矢図書館だより

10
2024

おすすめ 新着図書

一般書

- 世界一やさしい内向型の教科書 (井上 ゆかり)
- わたしが正義について語るなら (やなせ たかし)
- るるぶ函館五稜郭 '25
- 子どもと作る科学工作 (ささぼう)
- おうちで全部洗える魔法の洗濯術 (茂木 孝夫)
- 常夏荘物語 (伊吹 有喜)
- 三行怪々 (大濱 普美子)
- その朝は、あっさりと (谷川 直子)
- 鷹の飛翔 (堂場 瞬一)
- 銀河の図書室 (名取 佐和子) 他

児童書

- 理科の時間 (松井 大助)
- みんなが知りたい! 進化する「道具とくらし」 (こどもラーニング編集室)
- エイ・エイ・オー! (佐々木 ひとみ)
- 四つ子ぐらし [18] (ひの ひまり)
- 【絵本】 おかしなおきゃくさま (ペク ヒナ)
- 【絵本】 おにのこにこちゃんかえらないうたらかえらないうたら (原 あいみ)
- 【絵本】 ほんのむこうへ (なかい かおり)
- 【絵本】 まほうの絵本屋さん (小手鞠 るい)
- 【絵本】 もぐらけんせつ (長崎 真悟) 他



日本の『本屋』のルーツは京都にあった!?

商人としてはじめて『本屋』と名乗ったのは、本屋新七(ほんやしんしち)という人物であったとされています。新七は「古文真宝」という本を江戸時代1609年(慶長14年)に京都で出版したそうです。1609年は、江戸幕府が開いた直後のこと。新七の登場によって京都で本屋の文化が開花しました。その80年後ぐらいには日本に400件程の本屋ができており、そのほとんどが京都にあったそうです。当時は、教養を身につける本しか売っていなかったそうです。

その後、江戸時代中期から後期にかけて本屋も盛んになり、出版の中心は京都から江戸へと移ります。そして、町人の生活を面白おかしく描いた「滑稽本」や、色恋沙汰を描いた「人情本」、現在のマンガの原型のような「黄表紙本」などの大衆向けの娯楽本が登場しました。こうして見ると、今も昔も本の利用の仕方や楽しみ方は変わらないんですね。

この頃の本屋は、印刷と販売をかねていたそうですが、現在の本屋も多様化し、文房具を販売したり、カフェが併設されていたり、中には宿泊できる本屋も登場しているとか…。

今後の本屋の進化が楽しみです、われら図書館も負けてはいられません! これ、ウソのようなホントのおはなし。

今月のスタッフいちおし!

一般 『脱出』 織守きょうや 他

あなたはここから脱出できるか!?

5人の人気ミステリー作家が「脱出」をテーマに書き下ろした、全編仕掛けだらけ謎だらけの物語。

阿津川 辰海『屋上からの脱出』、井上 真偽『サマリア人の血潮』、空木 春宵『罪喰の巫女』、織守 きょうや『名とりの森』、斜線堂 有紀『鳥の密室』。あなたは逃げ出せるか!?! 没入感あふれる読書体験をぜひ!

※作品にはグロテスクな表現が含まれています。苦手な方はご遠慮下さい。

児童 『怪奇不思議 日本全国都市伝説』 放課後心霊クラブ編

都市伝説はあなたのすぐそばに…

「都市伝説」とは、現代社会に広がるウソか! 本当か! あやしいウワサ話のこと。ありえないできごとや、幽霊や妖怪などの人間ではない存在のウワサ。そのような不可思議なこととの遭遇、体験などが「都市伝説」として、人から人へと広まっていく…。

意外にも「都市伝説」の舞台は身近な場所が多い…。そう、危険はキミのすぐ側まで迫っているのだ! 目撃情報多数のミステリースポットを大追跡!! イラストや写真を交えてご紹介する。キミはこの恐怖に耐えられるか!?

お知らせコーナー

さあ読書の秋だ!

今月のテーマ展示は…

大人向け

『秋の夜長に読む怪談』

怪談は夏だけじゃないんです…
ヒヤヒヤ…秋の夜長にどうぞ…

子ども向け

『お菓子おいしいな♪』

チョコレートにケーキ、おせんべい!
みんな大好きなおかし大集合!

まだまだ読める!

古本・雑誌プレゼント

早い者勝ちだよ! 開催予告!

●期間:10月1日(火)~11月16日(土)
※雑誌は10月27日(日)からを予定しております。

10月の本の日

読書の日 10月27日(日)
読書週間 10月27日(日)~11月9日(土)

